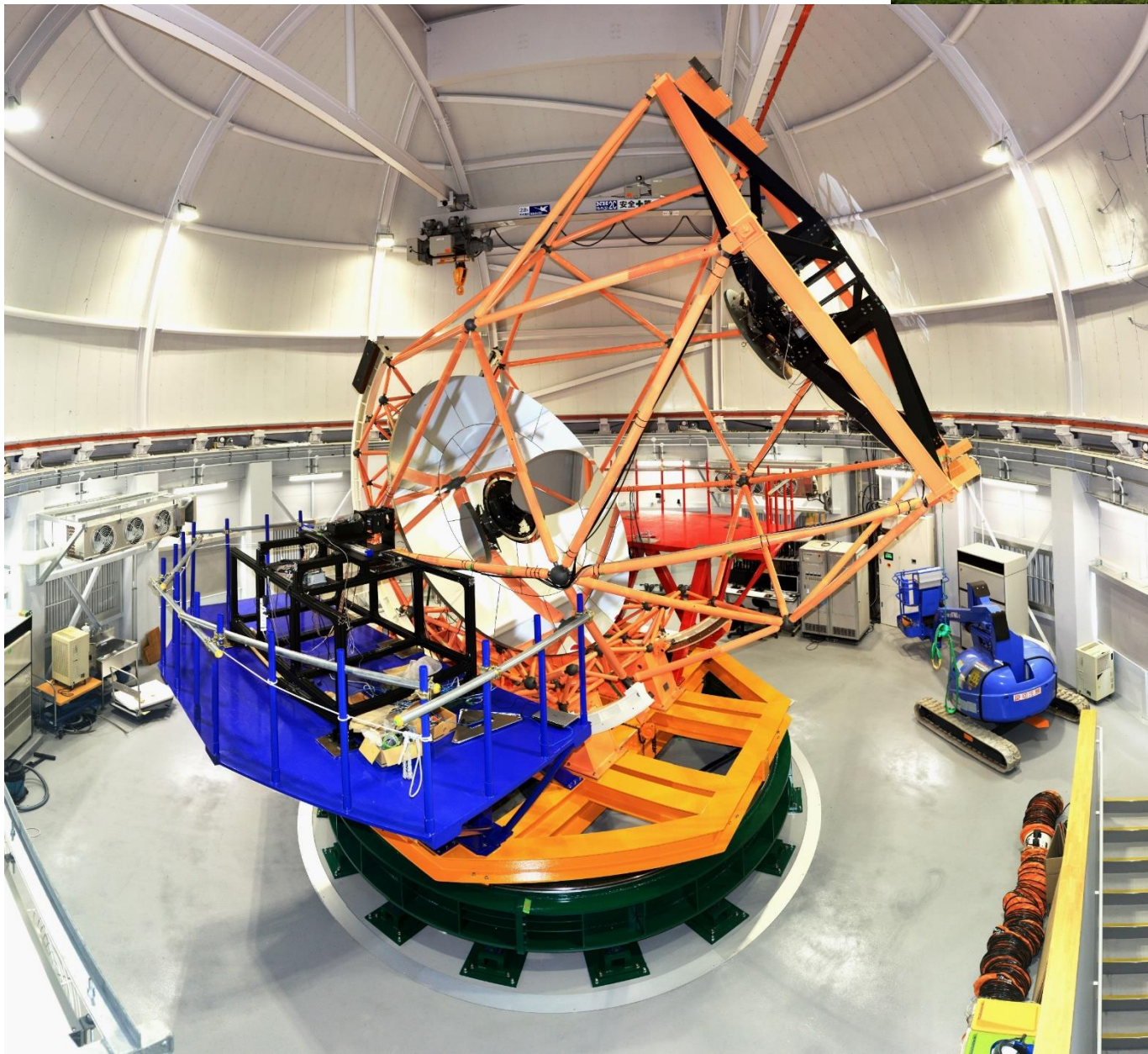


# せいめい望遠鏡 始動！

野上大作（京都大学）

[nogami@kusastro.kyoto-u.ac.jp](mailto:nogami@kusastro.kyoto-u.ac.jp)

# 京大岡山天文台 2018年設立

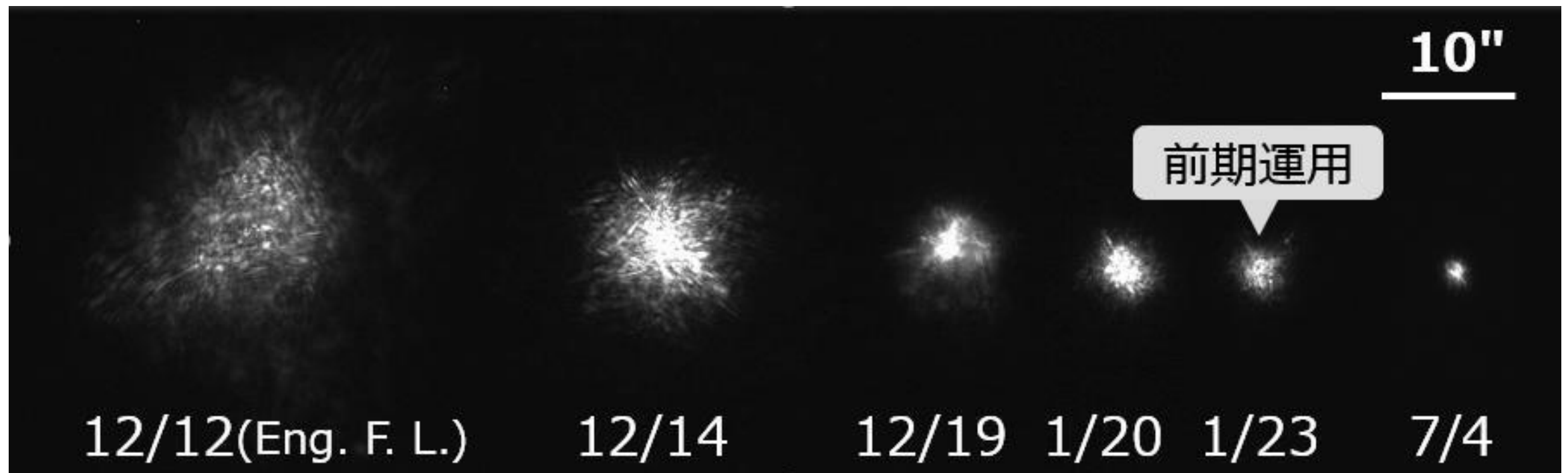


←口径3.8mの  
せいめい望遠鏡。  
2019年2月から  
観測を始めました！



# 望遠鏡の現状

- 分割主鏡の像：1-2 秒角で安定しており、シーイング限界の観測が行なえている(夜間に2-3回、シャックハルトマンカメラで調整をすることが望ましい)。2019年7月の調整期間ではハルトマン定数の2倍は1.0秒角を達成している。
- 指向精度：全天で数秒角 rms であり、追尾は特に問題なし。
- 観測装置：ナスミス焦点に KOOLS-IFU 分光器(波長分解能 600-2000)のファイバーバンドル(視野 15 秒角)が搭載されている。イメージローテータで像回転を止めている。



# 今後の観測装置予定

- 可視光高速測光分光装置
- ぐんま高分散分光器GAOES
- 可視多色カメラ
- 近赤外偏光撮像装置
- SEICA極限補償光学系外惑星探査装置
- 近赤外相対測光分光器
- 可視光高分散分光器

※上から下の順番で完成予定

# 共同利用状況 1     2019A(2月－6月)

- 1 月公募開始、2 月公募締切
- 公募夜数：30 夜
- 応募件数：22 (12+10) 、採択件数：14 (9+5)
- 要求夜数：59.56 夜 (33.4+26.16) 、採択夜数：35 夜 (24.5+10.5)  
    ※但し、カッコ内は（クラシカル観測＋ToO 観測）を表す。
- 2019 年前期の観測実施率は 45%であった。但し、天候不順による損失時間、望遠鏡のトラブルによる 3 夜のキャンセルも含めた値である。
- 様々な状況に対応するために導入した DDT (Director's Discretionary Time、分室長裁量時間) 5.5 夜のうち、2 夜を共同利用のクラシカル観測へ追加で割り付け、3.5 夜を岡山分室員による科学観測 2.0 夜と観測プログラム開発 1.5 夜へ割り当てた。

## 共同利用状況 2    2019B(8月－12月)

- 4月公募開始、5月公募締切、8月観測開始
- 公募夜数：60 夜
- 応募件数：14（7+7）、採択件数：14（7+7）
- 要求夜数：52.95（27+25.95）、採択夜数：72.1（39+33.1）
- 現在順調に(?)観測進行中

次期2020Aは10月中に公募開始予定。

公募情報や望遠鏡・観測装置の最新情報については

<http://seimei.nao.ac.jp/>

を御覧ください！